

平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 田野浦 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立への取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	####	22.42	53.92
本市	16.78	19.79	31.93	41.14	51.08	9.41	####	23.82	53.77

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	####	13.88	55.54
本市	16.48	18.34	35.88	39.07	40.17	9.67	####	13.97	54.74

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「朝の運動」では、児童が運動を工夫に取り組んだことが分かった。「運動やスポーツをすることが好き」と答えた児童数が全国平均を上回っている。 ○ 「1週間に体育の授業以外で運動やスポーツをする時間」は、全国平均を大きく上回っている。 ○ 「家の人から運動やスポーツを積極的に行うように勧められる」は、全国平均並である。 ○ 「田野浦っ子ががんばりカード」を活用し、点検を行い、基本的な生活習慣の定着に取り組んだ。健康については、「運動をすること」、「食事をしっかりとること」が全国平均を上回っている。しかし、「寝る(睡眠時間の確保)こと」は、全国平均を下回って

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の体力実態を把握して、「北九州市体力向上プログラム」や「田野浦小学校スクールプラン」を基に授業改善を図る。 ○ 体育科授業では、授業改善や場の工夫を図り、基本的な体力(走・跳・投)を高めていくために補助運動などを入れる。 ○ 各運動の特性をつかみ、補助的な運動ができるように、教務主任や少人数指導講師が、研修やTT授業を通して、授業を支援する。
--

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童全員が運動好きになるように、「朝の運動」や「通常の遊び時間」の内容を工夫する。 例、時間走、キッズダンス、大縄跳び、反復横跳び、体力を高めるゲーム的な運動等。 ○ 自己の振り返りができる「田野浦っ子ががんばりカード」等を活用する。各種の運動が体力の向上に繋がっていることを理解させる。常に体力を高めるために、自らが運動していく良さを支援する。
--